

南河内地区 支援部会

講演会「多様なニーズのある子どもの理解と支援について」

○講師 小田 浩伸先生（大阪大谷大学教育学部 教授）

学校における合理的配慮と基礎的環境整備について、例を出しながらご講演いただき、特に学校全体で取り組む基礎的環境整備として「安心できる集団づくり」「わかる授業づくり」について詳しくご講演いただいた。

○「安心できる」集団づくり

安心できる・やる気のでる集団づくりと子どもどうしをつなぐ支援の基本として、以下の5点があげられた。

①肯定的な指示や指摘のバリエーションを多用する。

②子どもどうしをつなぐことばを大切にする。

③ワンアップ・ワンダウンの対応を心がける。

（子どもがアップのとき教師はダウン、子どもがダウンのとき教師がアップ）

④自己選択等の主体的判断ができる場面をつくる。

⑤基本的な SST を日常の中で習慣化していく。

（あいさつ、あやまる、お礼、ヘルプ：教えてください等）

○「わかる」授業づくり

「わかる」授業づくりのための、授業評価の観点は、「主体的であるか」「対話的であるか」「深い学びになっているか」の3点である。主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業のステップとステージとして以下の3点があげられた。

・「わかる」レベル1（認知的理解）

指導者⇒説明・教示する（認知的な指導・支援）

生徒⇒説明を聞く・見る、モデルからイメージ・知識化

「おもしろそう、やってみたい、やってみよう」

・「わかる」レベル2（体験的理解）

指導者⇒作業・体験場面を設定する（体験的指導・支援）

生徒⇒知識（認知）と体験が一致し、実感的に理解する

「なるほど、おもしろい、こうなっているのか、もう一度やってみたい」

・「わかる」レベル3（実用的理解）

指導者⇒対話を通じたアクティブラーニングで言語化場面設定

生徒⇒知識と体験の一致を言語化する（次への期待、応用）

「こういうことか、こうしたらいいのか、納得、わかった」

（「わかる」レベル4 人に教えることができる）

南河内地区支援教育研究会 講演会 南河内地区小・中学校支援教育研究総会 小・中学校別総会

南河内地区小・中学校支援教育研究総会、小・中学校別総会

平成30年度事業報告、収支報告を行った。また、令和元年度役員選出、事業計画案、予算案などを報告し、承認された。

総会次第	
令和元年6月26日	講師 小田 浩伸先生 (大阪大谷大学教授)
南河内地区小学校 支援教育研究会総会・講演会	小・中合同総会 (3:50~4:00)
	(1) 報告の言葉 (2) 会長あいさつ
	小・中学校別総会 (4:05~4:50)
	(1) 報告の言葉 (2) 役員選出 (3) 議 事 ①平成30年度事業報告 ② 同 収支決算報告 ③ 同 会長就任報告 ④令和元年度役員選出 新役員 紹介 副役員 承認あいさつ ⑤令和元年度事業計画案 ⑥ 同 予算案
南河内地区小学校支援教育研究会 於 藤井寺市民総合会館 別館中ホール	(4) 閉会の言葉